



平成 22 年 1 月号

発行日 平成 22 年 1 月 18 日発行
発行者 広島経済同友会 尾道支部
住 所 尾道市土堂 2-10-3 商工会議所ビル 3F
Tel 0848-23-2222 Fax 0848-23-3333
e-mail: onodoyuk@urban.ne.jp

新年ご挨拶

「今年は、春から、縁起がいい」

広島経済同友会尾道支部

支部長 徳永 修



明けまして、おめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお喜びを申し上げます。

「今年は、春から、縁起がいい」ことに、尾道市にとりましてビッグニュース

が飛び込んで参りました。9 月から放映される NHK 朝の連続テレビ小説が

「てっぱん」と発表され、尾道がその舞台として、昭和 39 年の「うず潮」以来、

なんと 2 度目、46 年ぶりに選ばれた事です。今、日本には市が 784（地方公共団体としては、町が 788、村が 189、

合計 1761）もある中で、2 度も取り上げられるという事は希有な確率です。

朝ドラの経済波及効果は、あの大和ロケセットに勝るとも劣りません。

「だんだん」→ 99 億円（日銀松江支店）

「つばさ」→ 220 億円（埼玉りそな産業協力財団試算）

大河ドラマでは「篤姫」→ 296 億円、観光客 220 万人増（日銀鹿児島支店）

「天地人」→ 204 億円、観光客 200 万人増（日銀新潟支店）

さらに、ことは金銭的な効果だけではありません。町の知名度（ブランド）のアップ、まちづくりの気運が盛り上がる事による人材育成のインキュベーターとしての機能等々、それこそ計り知れません。経済が不況のどん底で呻吟しているこのタイミングで、なんとも素晴らしいプレゼントが舞い込んで来たものです。我々経済同友会は協力を惜しむつもりはありません。産官学民総掛かりで、「てっぱん」プロジェクトを立ち上げ、推進していきたいものです。

さて、平成 22 年は庚寅（かのえとら）の年。今年の干支であるトラは、古来より恐ろしくもあり、

神秘的な存在でもありました。

「前門の虎、後門の狼」

一昨年のリーマンショックに端を発した世界経済同時不況は、欧米先進国のみならず世界中に大きな打撃を与え、特に日本経済の回復の足取りはいまだに重く、デフレスパイラル、株安、財政悪化等々、まるで何匹ものトラや狼に取り囲まれているかのようです。この厳しい環境にあって、圧倒的な支持を集めて政権交代を果たした民主党や、行き詰まった藤田県政に代わって 16 年ぶりに誕生した若き広島県知事は、景気回復の正しい道筋を、遅滞無く指し示してくれるのでしょうか。

「虎は千里を往き、千里を還る」

昨年我々尾道支部は、“BRICs”に続いて経済成長著しいと言われている“VISTA”諸国の V、ベトナムを視察致しました。海外からの投資を呼び込むべく積極的な政策を取り、リーマンショックを跳ね返さんばかりの勢いで、予想を上回る 6% 近い成長軌道に乗せる事に成功しており、街は活気にあふれていました。やれば出来るのです。このベトナムをはじめ中国やインド等トラの生息地であるアジアの国々は、いち早く不況を脱し成長への道を一瀉千里とひた走っています。閉塞感に喘いでいる日本にばかりこだわるので無く、目を世界へ向ければ、地方都市尾道と言えども、いろいろな可能性が見えてくるのではないのでしょうか。

「虎穴に入らずんば、虎児を得ず」

100 年前の 1910 年、日本は韓国併合を果たし、大陸進出を本格化させました。そして第 1 次世界大戦へと進み、さらに第 2 次世界大戦の敗戦、アメリカによる占領、奇跡的経済復興、バブル崩壊、政権交代・・・、日本国始まって以来の激動期を過ごした事は歴史の事実です。

では、これからの 100 年間の変化はどれほどのものか？ 正確に予想することは難しいかも知れません。世界はフラット化し国家間のみならず都市間競争はさらに激化、IT 化もクラウドコンピューティングの時代になり、エネルギー戦略としてはスマートグリッドを模索し始めています。この意味のよく判らない横文字は、けっして他都市やよその国の話ではなく、わが町尾道の避けて通る事の出来ない近々の課題となっているのです。さらに、民主党政権のマニフェストの目玉は「地方主権」へ向けての地方自治法の改正を含む大幅な改革です。

これまでの地方政治のロジックまでをも大きく転換させる事になるのは明白です。

これから起こる大変革に、尾道はひるむ事無く、

他都市に先駆けて果敢にチャレンジしていかなくてはなりません。

百年に一度の危機を、百年に一度の挑戦としてトラえてみたいものです。

本年もよろしくお願い致します。

